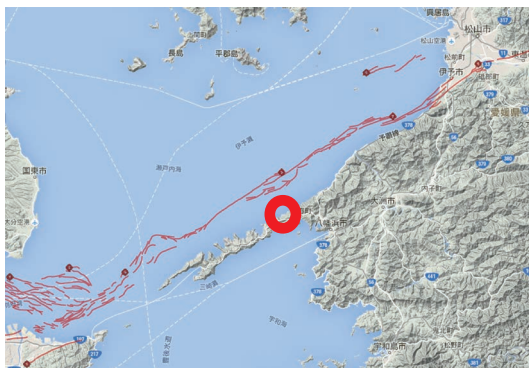


未来を考える脱原発四電株主会

四国電力伊方発電所
全機停止から3年6ヶ月



使用済核燃料は、
3年半冷却され続け、
徐々に冷めてきている。
いま廃炉を決めることが重要だ。

原発に未来はない。
2016年4月1日
エネルギー新時代が始まる。
原発は時代遅れの技術のうえ
予測される事故の被害は計り知れない。
四国電力は原発廃炉を逸早く決定し、
未来へ繋がる道へ歩み出してほしい。
地方再生と豊かで安心できる暮らしのために。

平成27年04月16日 四国電力株式会社

原発なくとも
電気は足りてる

原子力の再稼働がないとした場合の今夏の需給見通し (発電端：万kW、%)

項目	需要		平年並み気温 (定着した節電効果を織込み)		猛暑気温 ^{*1} (定着した節電効果を織込み)	
	7月	8月	7月	8月	7月	8月
最大電力(A)	527		527		549	
供給力(B)	638	616	638	616	638	616
予備力(C=B-A)	111	89	89	89	89	67
予備率(C/A*100)	21.0	16.8	16.1	16.1	16.1	12.1

※1 H22年度夏季の気温相当

四電HPより <http://www.yonden.co.jp/press/>

未来を考える脱原発四電株主会について

未来を考える脱原発四電株主会（以降 未来四電 と表記）は、四国電力を原子力事業から撤退させるために、株主の権利である「株主提案権」を行使して、定款の変更を提案します。そして、株主の皆さまには、脱原発への賛同を呼びかけます。

未来四電は、チェルノブイリ原子力発電所の事故を契機に、脱原発提案を始めました。2011年3月の福島第一原子力発電所の大事故を経験してからは、「原子力発電は絶対にやめなければならない」というさらに強い決意で取り組んでいます。新しいスタッフも多数集まりました。2012年提案からは、毎年賛同者が増え、本年は10万株を超える支持を得て脱原発を提案することができました。

未来四電を、温かい目で、そして知恵やお力を貸していただければこれほどうれしいことはありません。賛同・ご支援をして下さる方はご連絡ください。カンパも大歓迎です。

ホームページ <http://miraiyonden.sakura.ne.jp/>

Eメール miraiyonden@yahoo.co.jp

郵便振替 01660-0-51040

ゆうちょ銀行 (628) 普通 1009369

口座名 「未来を考える脱原発四電株主会」